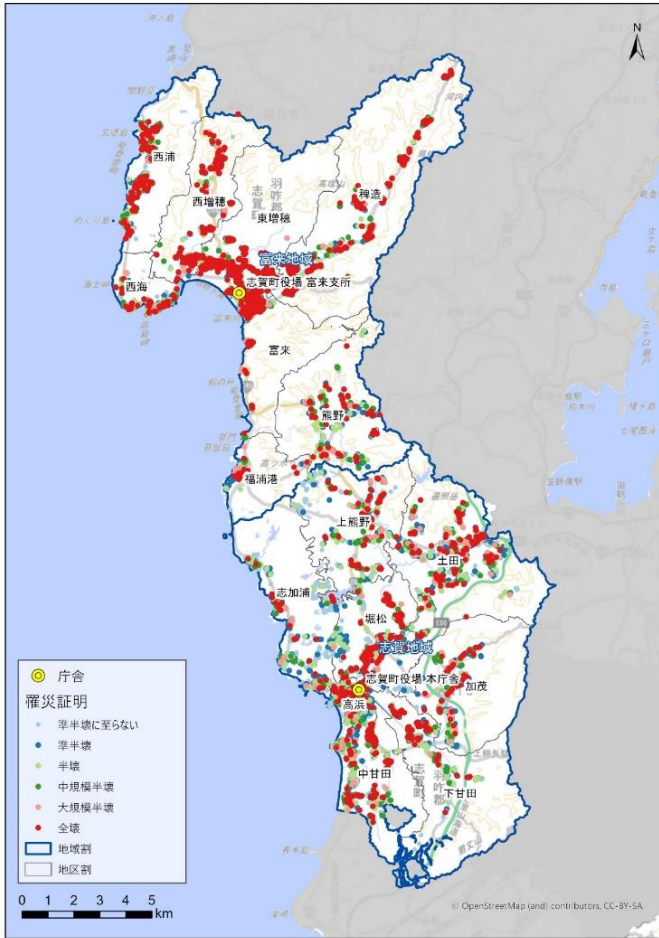


志賀町 調査総括表(1/9)

調査番号	6	県名	石川県	市町名	志賀町			
1. 被害の状況等								
(1) 被災前の人口(R5.12 月末)			被災状況図					
総人口	18,255 人		▼建物被災状況 					
年齢階級別人口								
項目	0-14 歳	15-64 歳				65 歳以上		
人口(人)	1,384	8,493				8,378		
比率	7.6%	46.5%				45.9%		
(2) 人的被害の状況(R7.3.18)								
死者	19 人 (うち災害関連死 17 人)							
行方不明者	0 人							
(3) 都市計画等の状況								
都市計画区域	一部都計区域							
市街化区域	区域区分 無							
用途地域	用途地域指定 無							
(4) 建物等被災の状況(R7.1.29) ※割合は行政区域等の各区域に示す割合								
区 域	総軒数 (件)	全壊区域		半壊以上区域		一部損壊区域		流出軒数 (件)
		軒数(件)	割合(%)	軒数(件)	割合(%)	軒数(件)	割合(%)	
行政区域	28,218	2,383	8.4%	5,849	20.7%	9,196	32.6%	—
都市計画区域	20,358	1,825	9.0%	4,274	21.0%	6,915	34.0%	—
用途地域	—	—	—	—	—	—	—	—
(5)津波浸水被害の状況			(6)液状化被害の状況		(7)火災被害の状況			
区 域	総面積(ha)		軒数(軒)	総面積(ha)				
	面積(ha)	割合(%)		面積(ha)	割合(%)			
行政区域	25.83	100.0	—	—	—			
都市計画区域	19.27	74.6	—	—	—			
用途地域	—	—	—	—	—			

(4)は、軒数ではなく件数で算出、(5)面積は国土地理院浸水範囲(想定)をGIS上で計測して算出

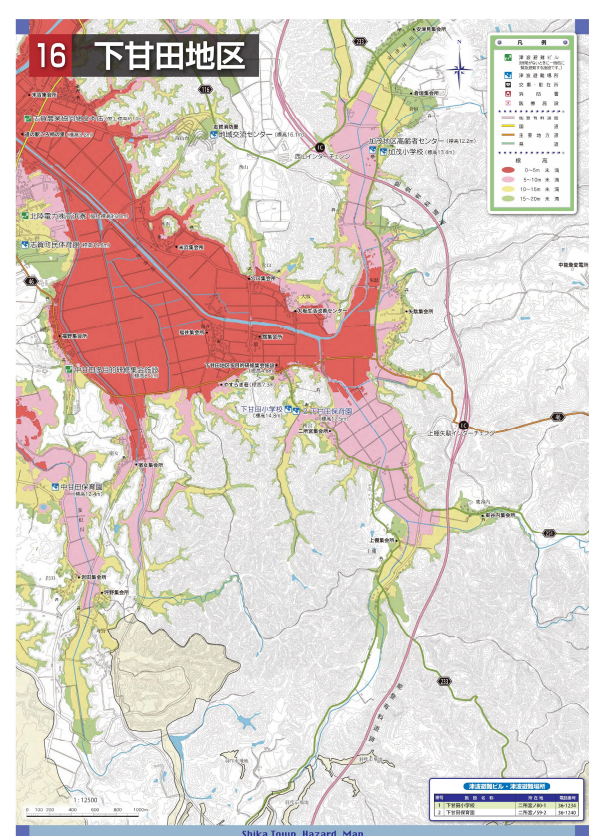
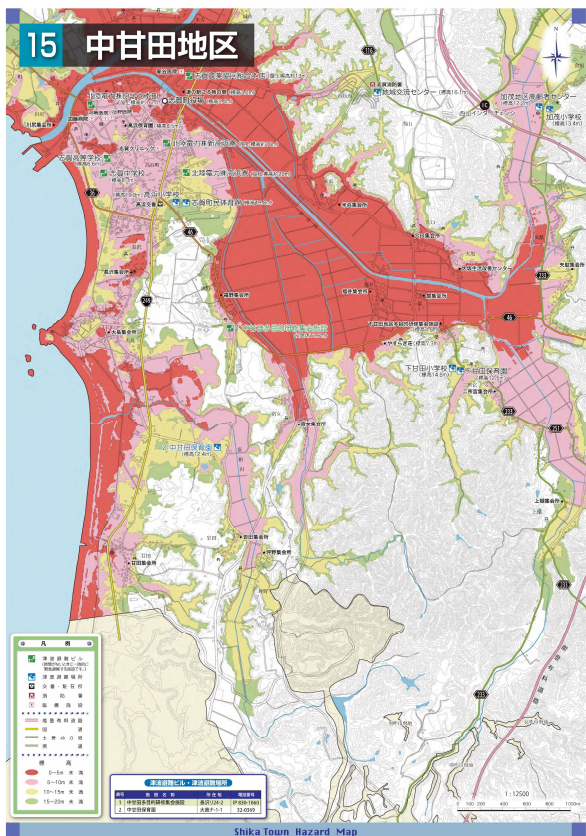
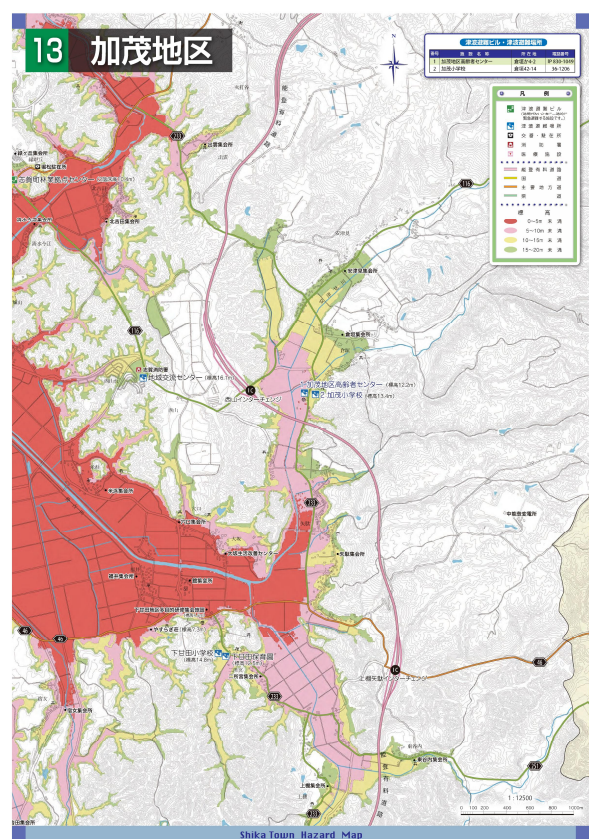
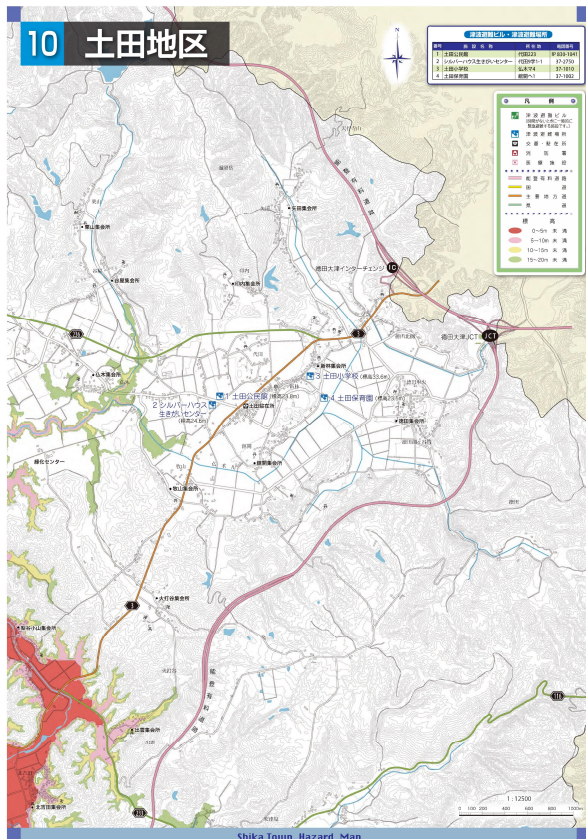
志賀町 調査総括表(2/9)

(8)インフラの状況※1					
区分			被害状況※2	復旧状況	備考
道路	国道	通行止め	全域	—	【被害箇所：304 箇所】
		片側交互通行			
	県道	通行止め	—	—	
		片側交互通行	—	—	
	町道	通行止め	全域	—	
		片側交互通行			
電気			—	—	—
水道	上水道		全域断水	—	【被害箇所：149 箇所】
	営農飲雑用水施設		—	—	—
	小規模水道施設		—	—	—
	その他水道施設		—	—	—
下水道	公共下水道		全域	—	【被害箇所】
	漁業集落排水		—	—	・公共下水：3 処理区
	林業集落排水		—	—	・地域し尿処理施設：2 地区 ・農業集落排水：15 処理区
通信	電話		—	—	—
	インターネット		—	—	—
	ケーブルテレビ		—	—	—
(9)仮設住宅の整備状況					
区分			世帯	整備状況	備考
応急仮設住宅			—	393 戸完成 進捗率 100%	—
みなし仮設住宅			—	—	—

※¹ — ：志賀町に確認したものの、町でも整理された情報等がなかった部分

※² 被害状況：志賀町復興計画より

志賀町 調査総括表(4/9)



志賀町 調査総括表(7/9)

3. 被災前の上位関連計画策定状況

- 第2次志賀町総合計画（H29.3月）
- 志賀町都市計画マスタープラン（H26.3月）
- 第2期志賀町創生総合戦略（R2.3月）

4. 被災前の開発・事業計画状況

無

5. 復興計画の策定状況

(1) 復興事前準備の状況

- 事前復興計画 無
- 地域防災計画 有

(2) 復興計画等の策定状況

	名称	策定年月日	委員会	パブリックコメント
復興計画	志賀町令和6年能登半島地震復興計画	2024年7月31日	有	有
その他の方針・計画	無	—	—	—

(3) 復興計画の策定方法等での特質（住民参加・大学との連携等・方向性の変更等）

- 復興計画策定委員会（3回開催、学識経験者・議会・住民代表・産業代表・団体代表で構成）
- 策定委員会と合わせて、庁内で復興計画策定部会として「生活再建部会」「生業再建部会」「社会基盤再建部会」を設置
- アンケート調査（避難生活者対象、地域団体・学校関係・経済団体対象）
- 住民票のある町民を対象としたまちづくりの提言募集
- 志賀町タウンミーティング（2回開催、町内居住者、復興計画策定後）

6. 復興計画の概要(市町全体)

(1) 整備の基本的な考え方		(2) 整備にあたっての基本的な方針		(4)復興構想図(市町全体対象)
<div>■復興に向けた土地利用の考え方</div> <div><重点エリア></div> <div>・集積する主要施設の強靱化</div> <div>・広域交流軸や地域連携軸となる道路の強靱化によるネットワーク強化</div> <div><市街地ゾーン></div> <div>・公共インフラ・施設等の強靱化による地域の中心拠点としての機能確保</div> <div>・避難拠点施設や防災公園等の整備による安全で暮らしやすい市街地の整備</div> <div><移住・定住ゾーン></div> <div>・災害に強い場所に新たな住宅地を整備</div> <div>・既存住宅地における住宅の強靱化及び移住・定住の促進に向けた魅力ある住環境の整備</div> <div><農林・集落ゾーン></div> <div>・農林業基盤・施設の強靱化と、周辺の自然環境や農業環境と調和した安全で暮らしやすい集落の再生・維持</div> <div>・優良農地の保全や耕作放棄地の解消・活用など、世界農業遺産の有効活用</div> <div><景観保全・漁業ゾーン></div> <div>・地域のブランド価値の向上に向けた積極的な土地の利活用の推進</div> <div>・甚大な被害を受けた富来地域の土地利用の再編</div> <div>・漁業等施設の強靱化</div> <div><山間地ゾーン></div> <div>・美しい里山景観の適正な保全・継承</div> <div>・土砂災害等の防災対策の強化による安全性の確保</div>		住宅再建の方針	・災害に強い住宅地の整備と災害公営住宅の建設	
		コミュニティの復興方針	・移住の促進と起業支援、関係人口の再整備	
		浸水対策の方針	-	
		火災対策の方針	-	
		市街地の整備方針	・公共施設の再編・再整備、オフグリット型のインフラ施設等の整備促進	
		避難体系の方針	・復興のシンボルとなる複合型の避難拠点施設と防災公園の整備	
		交通体系の整備方針	・持続可能な地域交通	
		産業・生業、観光・交流の復興方針	・産業の振興と雇用の確保、道の駅とぎ海街道周辺の再整備	
(3)地区別の方針の概要				
重点エリア：主要施設の強靱化、道路の強靱化によるネットワーク強化				
市街地ゾーン：公共インフラ・施設等の強靱化、周辺活用による避難拠点施設や防災公園等の整備				
移住・定住ゾーン：住宅の強靱化、魅力ある住環境の整備				
農林・集落ゾーン：農林業基盤施設の強靱化、集落の再生・維持、優良農地の保全、耕作放棄地の解消				
景観保全・漁業ゾーン：積極的な土地の利活用、土地利用の再編（富来地域）、漁港等施設の強靱化				
山間地ゾーン：里山景観の保全・継承、土砂災害対策の強化				
地区名	復興の基本的な考え方			
志賀地域	令和6年度から改定する志賀町総合計画・将来人口ビジョンや、令和7年度に予定している都市計画マスタープラン改定と立地適正化計画の策定との整合を図り、地区別復興方針の検討や全体の復興まちづくりを推進していく。			
富来地域				

※地区別復興方針（詳細）は公表情報なし

志賀町 調査総括表(9/9)

《志賀町 調査総括表の各種データの出典等》

項目	出典等	備考
1. 被害の状況等		
(1) 被災前の人口	住民基本台帳	
(2) 人的被害の状況	石川県 HP	
(3) 都市計画等の状況	志賀町 HP	
(4) 建物等被害の状況	罹災証明、固定資産台帳	罹災証明等による被害の状況を行政区 域、都市計画区域、用途地域毎に整理
(5) 津波浸水被害の状況	国土地理院「空中写真判読による津波浸水域（推定）」	
(6) 液状化被害の状況	－	
(7) 火災被害の状況	－	
(8) インフラの状況	志賀町ヒアリング及び提供資料、TEC-FORCE 調査	
(9) 仮設住宅の整備状況	志賀町ヒアリング及び提供資料	
2. 各種ハザード・過去の被災状況		
(1) 各種ハザード状況	志賀町提供資料、石川県 HP、国土交通省 HP	
(2) 過去の被災状況およびその後の 対策	石川県「平成 19 年能登半島地震災害記録誌」	
3～5. (省略)		
6. 復興計画の概要（市町全体）		
(1)～(4)	復興計画のうち、復興まちづくりに関する内容を記載	
7. 地区別復興方針		
(1)～(5)	－	事業検討中であるため、町意向により公 表しない